

令和3年度第1回 倉敷市地域福祉基金運営委員会

日 時 令和3年7月21日（水）9時30分～10時48分

会 場 倉敷市役所西側第2分室 109会議室

出席者

委員 石井委員，植田委員（会長），小松原委員，田野委員，中桐委員（副会長），中野委員，新垣委員，平岡委員，山崎委員（監事）

事務局

保健福祉局）藤原局長，森参事

保健福祉推進課）佐藤課長代理，上川原主幹，白神主任，佐藤主任，山砥主事

欠席者

委員 木村委員（監事）

傍聴者 なし

議事内容（要旨）

1 開 会

今回の会議は委員改選後第1回目の会議であるため，委嘱状の交付を行った。

委員9名の出席により，倉敷市地域福祉基金運営委員会規約第9条第2項の規定に基づき，会議が成立していることを確認し，開会を宣言した。

役員相互について諮ったところ，会長は植田委員，副会長は中桐委員，監事は山崎委員，木村委員に決定し，規約に基づき会議の進行を植田会長に依頼した。

2 議 事 （発言者：◎会長 ○委員 ■事務局）

（1）令和2年度事業報告，決算報告及び監査報告について

■ 資料に従い説明を行った。

<監査報告>

○ 基金の歳入歳出について監査した結果，歳入歳出各科目の収支に関する経理は，基金の目的に沿って適切に処理され，関係帳簿も正確であったことを報告します。

承認

（2）令和3年度事業計画及び予算（案）

■ 資料に従い説明を行った。

○ 日常生活用具給付事業のねたきり高齢者とは，規則の別表1に該当する方ということか。

■ そのとおりである。

◎ 高齢者が増えている中で重要な事業であると思う。

○ 夏のボランティア体験事業は，コロナ禍により代替事業を実施することだが，医療従事者が懸命に接種事業に取り組んでおられ，倉敷市も順調に接種が進んでいると聞いている。そういった方へメッセージカードや絵葉書を贈呈するというので，この事業については賛成である。

■ 今年度はコロナ禍で各施設へ訪問しての事業が行えないため，それぞれメッセージを送るという形で実施させていただきたいと思っている。

◎ 夏のボランティア体験事業は，市内の中・高・大学生を対象としている事業で，事前学習や事後学習も丁寧にされている。今回，代替事業ということだが，事後研修ではYouTubeで動画を見

て感想文を提出するという事で、メッセージを送るだけでなくフィードバックも考えられているので、良いのではないかと思います。

- 前回の会議でふれあいの旅「しらかべ号」の代替案の話をさせていただいた。結果としては、現状での実施が難しいということだが、協議をしていただきありがとうございます。1点確認だが、日常生活用具給付事業の予定台数が98台であるが、あらかじめニーズの調査をしての台数なのか。
- 日常生活用具給付事業の予定台数は、例年の給付件数に加えて、それぞれの品目によって基準年限が違ったり年度によって給付件数が上下することを加味しており、実績数より多く算出している。
- 本当はもっと必要としている人がいて、そこにちゃんと届いているのかということが心配だったが、先ほど言われた年限などの基準も設けながら、余裕を持った予算取りをされているということであれば、ある程度対応していけるかなと思う。引き続きよろしくお願ひしたい。
- 日常生活用具給付事業だが、令和2年度の火災警報器の数が3で台数が4となっているが、これはどういうことか。
- 他の品目の限度数が1台のところ火災警報器は限度数が2台となっており、お一人2台申請をされている方がいるため、申請人数と台数に差異が生じている。
- ◎ 日常生活用具給付事業は、どの課が担当しているのか。
- 健康長寿課が担当している。

承認

(3) 各申請団体の審査について

- 資料に従い説明を行った。
- どの団体も色々なことを考えて計画書を提出されている。こちらから内容についての問い合わせ等ができるかどうか分からないが、生活困窮者とシングルマザーを対象として事業を実施される団体について、現在は男性主夫の方もいらっしゃるの、そういった方にも対象が広がった方が良いのではないかと思います。
- ◎ 今回申請のあった団体の事業計画について委員から意見が言えるのかということだが、現在の状況を鑑みると、たしかに「ひとり親」という観点から配慮いただければと思う。
- 団体から提出された計画書にはシングルマザーとなっているが、今後活動を進めるにあたって、それを広げていただくお願ひはできると思う。団体も、やっていく中で色々な方に参加していただきたいというお願ひがあると思うので、その辺りについて配慮していただくよう、運営委員会の意見として伝える。
- ◎ 申請内容に関して、運営委員会の意見が反映されるようになるのは良い方向性だと思う。
- 活動場所が同じ団体が2つあるが、活動が広がってできた団体なのか。重複はしていないか。
- この2つの団体は、「場所」と「食料品」をそれぞれ無料で提供し合って協力しながら活動される予定であり、会員や事業内容についての重複はなく、別団体であると伺っている。
- ◎ 団体の会員数は、少ないところから、102名と新規事業にしては多いと感じるところもあるが、これは何か理由があるのか。
- 団体によって会員の捉え方が異なっている。例えば会員数102名の団体については、団体を運営しているのは3名だが、メールマガジンに登録している方も会員としてカウントするため、そういった方も含めて102名としている。
- 助成を受けるためには申請をして、認められれば報告書もきちんと提出して活動していくことが大前提となるが、こういった活動の申請に関する広報はどのように行っているのか。

- まず、広報くらしき2・4月号で広報を行っている。また、チラシを作成しており、社会福祉協議会などの関係機関や市民活動推進課などの関係部署に配布の依頼をしている。近年、助成団体の申請件数が増えてきているが、その理由として、生活支援コーディネーターから情報を得ているケースがあり、そういった地域との繋ぎ役となる生活支援コーディネーターにも、更に協力をいただきながら引き続き広報活動を行っていかねばと思っている。
- 地域のためにボランティア活動を頑張っている団体は、もっと小さなところにもあると思っているが、そういったところで生活支援コーディネーターが活躍されているのはずっと聞いているので、色々な団体がこういった機会を得られるような広報をこれからもしていただきたいと思う。一件ずつ内容を確認させていただき、それぞれの団体が一生懸命やってくさっているのが分かった。社協がコーディネーターをしている互近助パントリーでは、フードロスになりそうな食品の提供や、コロナ禍で生理の貧困が増えており生理用品の配布などの活動もしていただき、本当にありがたいと思うので、こういった申請がきちんと通ればと思う。
- ◎ おっしゃられる通りで、こども食堂は数年前から活動が活発になってきたが、コロナ禍で密となる食事をするのができなくなっている中、互近助パントリーといった食料や日用品の配布といった活動内容に切り替わってきており、それが今回の申請にも繋がっていると思う。防災活動も、豪雨を経験した倉敷市ならではの活動だと思うので、地域での活動を応援していければと思う。
- 先程から意見が出ている互近助パントリーを実施する団体に、先日、生活支援コーディネーターと一緒に見学して話を伺った。その中で、フードロスを無くすために企業から協力をいただくがそれをどうやって皆さんに届けたらいいのかということが課題であるとのことだった。申請書を確認したところ他の団体と連携しており、このような連携しての取り組みは良いと思った。生活支援コーディネーターが民生委員と一緒に見学して、何かいい案はないかと提案を求められることもあるが、こういった連携はこれから必要なのではないかなと思う。
- ◎ 実際に見学されたということで、ありがとうございます。これまで地域福祉という分野では関わりのなかった企業も、こういった互近助パントリーや、SDGsの一環としても、地域貢献という形で新たな連携が出てきていると思う。
- 知り合いが関わっている子ども食堂は、生活困窮者やひとり親などの生活が苦しい方を対象にしているが、実際には生活に困っていない方が来られていることが問題になっているという話を聞いた。実績書を提出する際にアンケートを取られているが、こういった中で、課題として困りごとや問題についても聞くことができればと思う。また、この助成について周知していければと思っているが、一般の方には書類作成で難しい面もあると思うので、申請方法など事務局から教えていただけるとかお聞きしたい。
- ◎ アンケートに課題の項目を加えることと、申請時に書類作成の支援があるのかということである。
- アンケートについては、問題点や課題を教えていただければ他の団体にも活かせると思うので、項目について検討させていただく。書類作成については、団体によっては高齢の方や作成に慣れていない方がおり、手書きのような形で持って来られたものを何回かやりとりさせていただき、委員の皆さんに見ていただける資料になるまで作成の手伝いをさせていただいている。コロナ禍でお越しいただくことが難しい中、メールができる団体については、メールでのやりとりをさせていただいている。相談に来ていただければ、資料の書き方等の説明をさせていただいている。
- ◎ 以前から窓口で団体と丁寧にやりとりされていると聞いている。もし委員の皆さんの身近にも申請を考えられる団体がいましたら、案内などよろしくお聞きしたい。

承認

(4) 会議の一部非公開について

- 資料に従い、「第1回運営委員会において、会議の傍聴人がいた場合は、助成団体の審査・承認を行う際に一時退席していただき、会議を非公開とする。」ことについて、説明を行った。

承認

- ◎ 事務局の作成した議事録について間違いがないかどうか承認を行う署名委員は、私のほかに、監事の山崎委員にお願いしたいと思うがいかがか。

承認

3 閉会

以上により、議事を終了